

2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2024年1-3月の延べ宿泊者数（全体）は「1,873,040人」、前年同期比で「+8.4%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,520,860人」、前年同期比で「▲3.5%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「352,180人」、前年同期比で「+133.6%」でした。

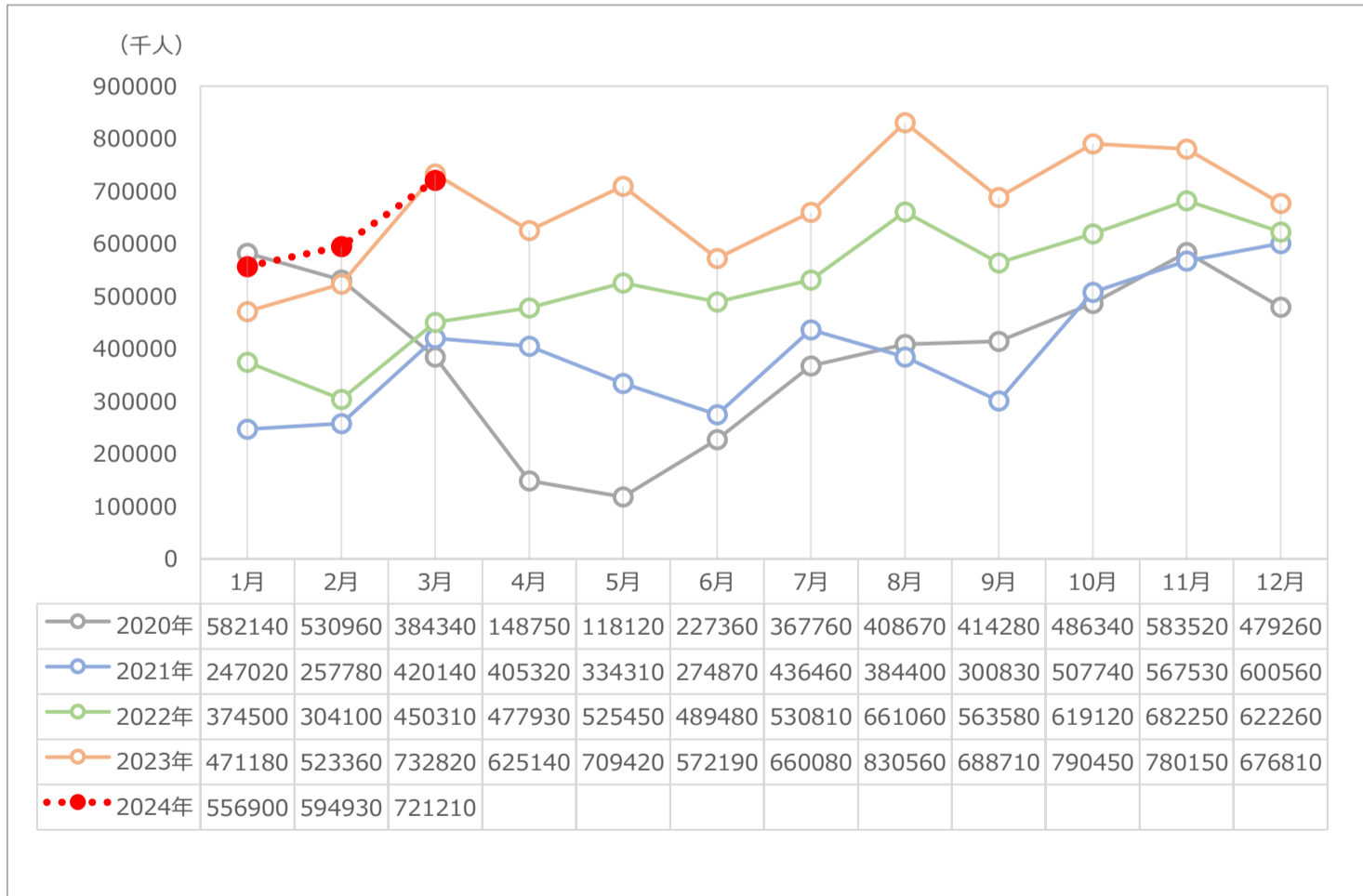
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,873,040	人	（前年比： + 8.4 %）
1月：	556,900	人	（前年比： + 18.2 %）
2月：	594,930	人	（前年比： + 13.7 %）
3月：	721,210	人	（前年比： ▲ 1.6 %）

※前年比・・・2023年1Qとの比較

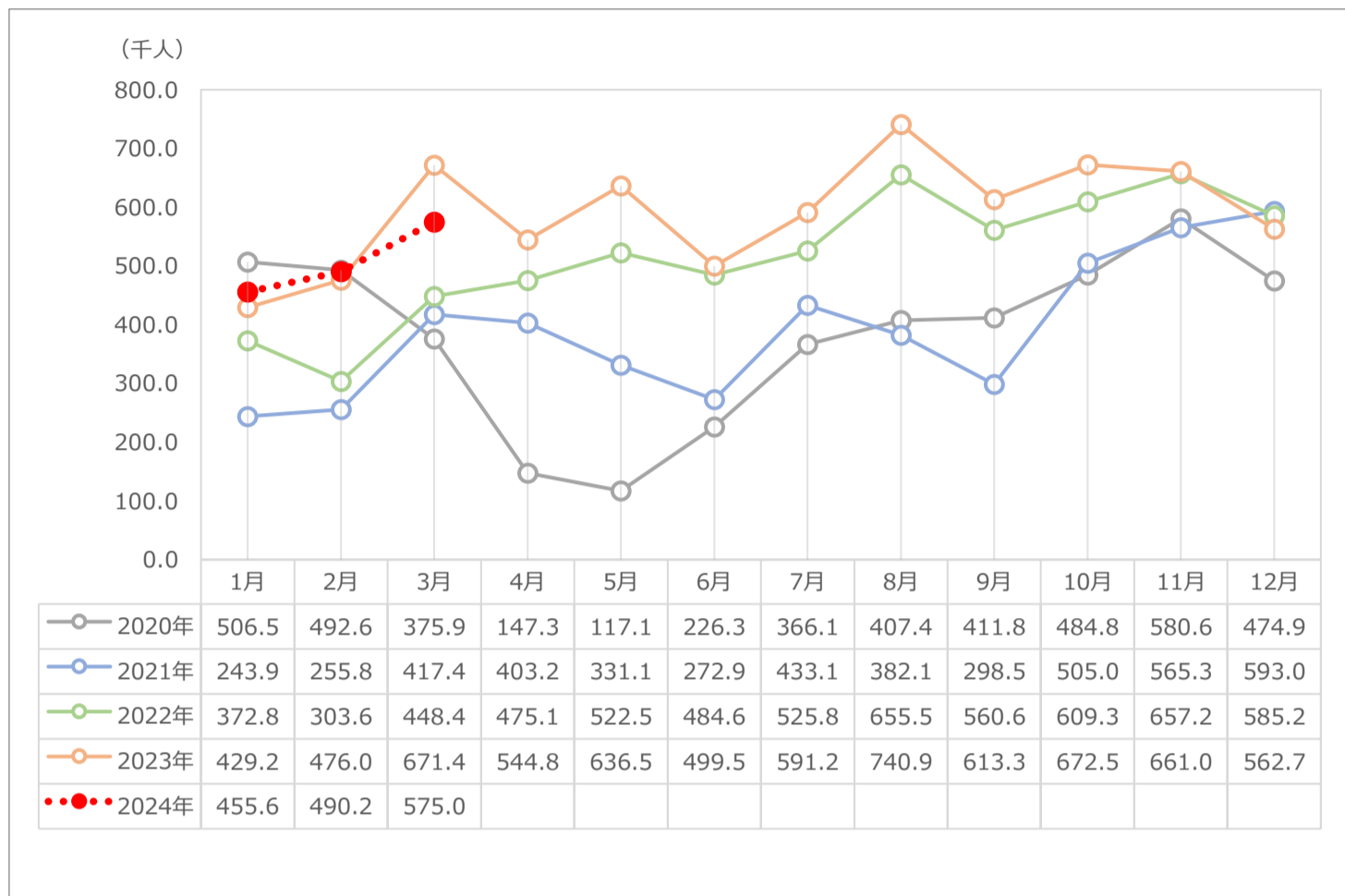
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

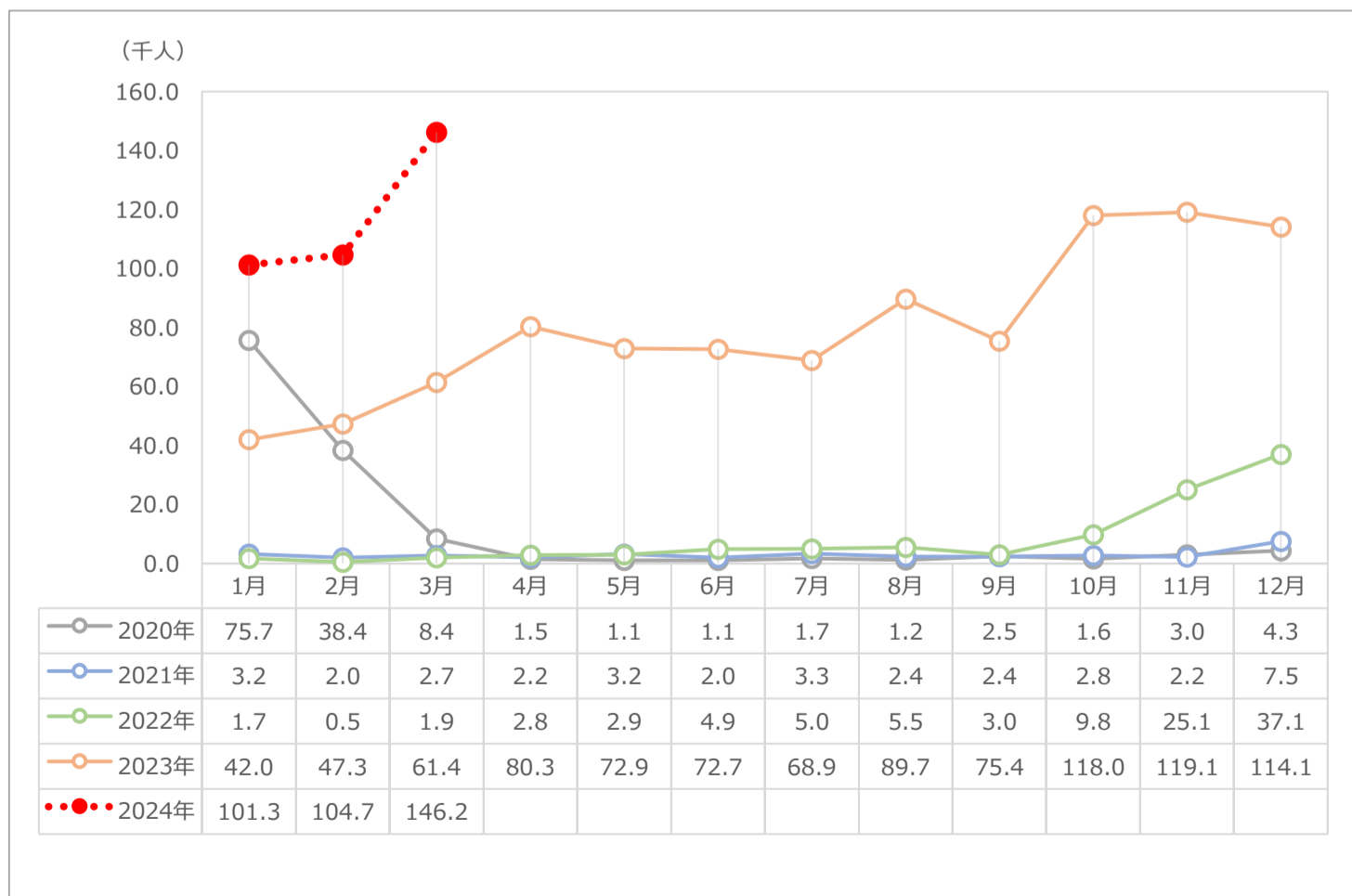


2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

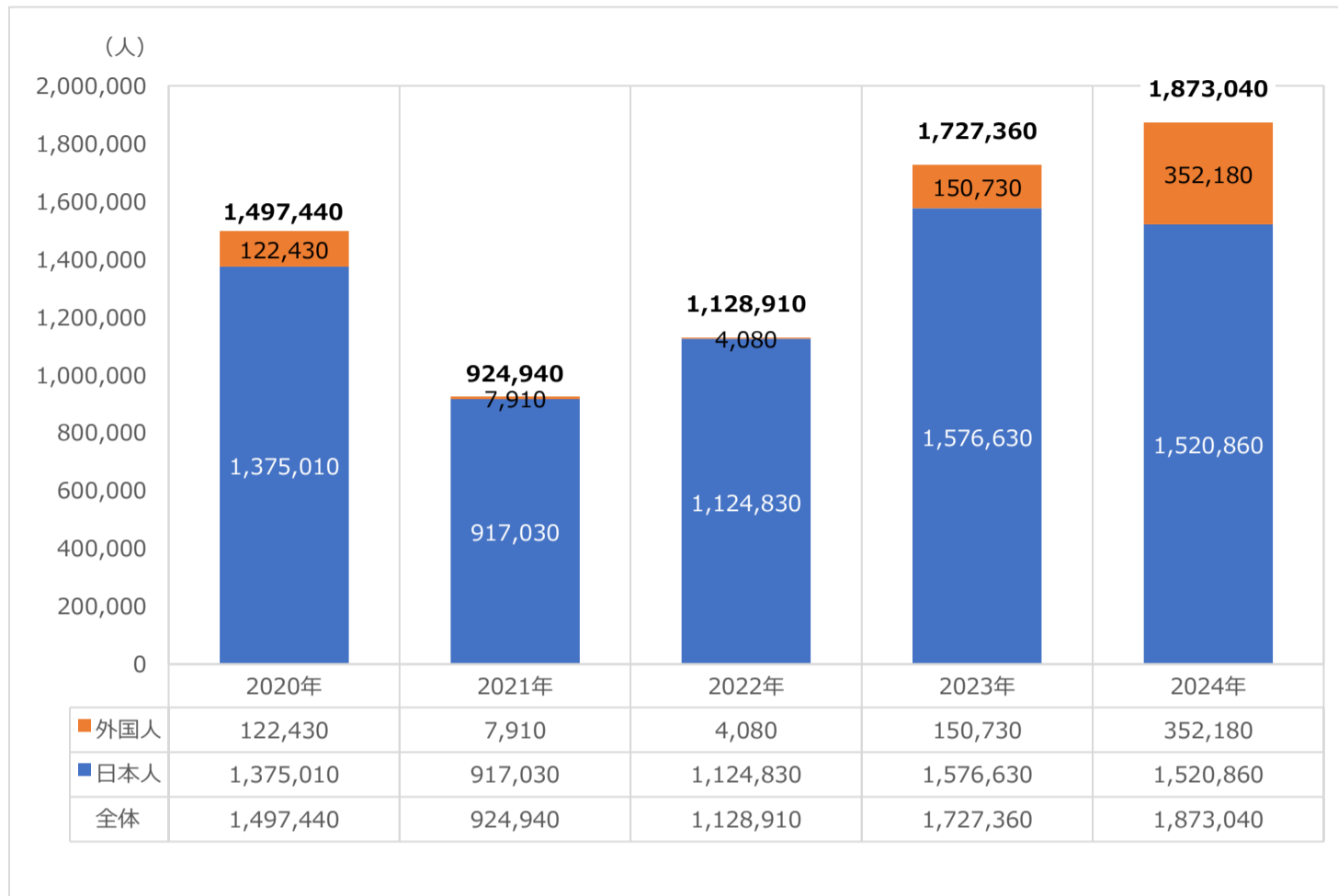


③ 外国人延べ宿泊者数

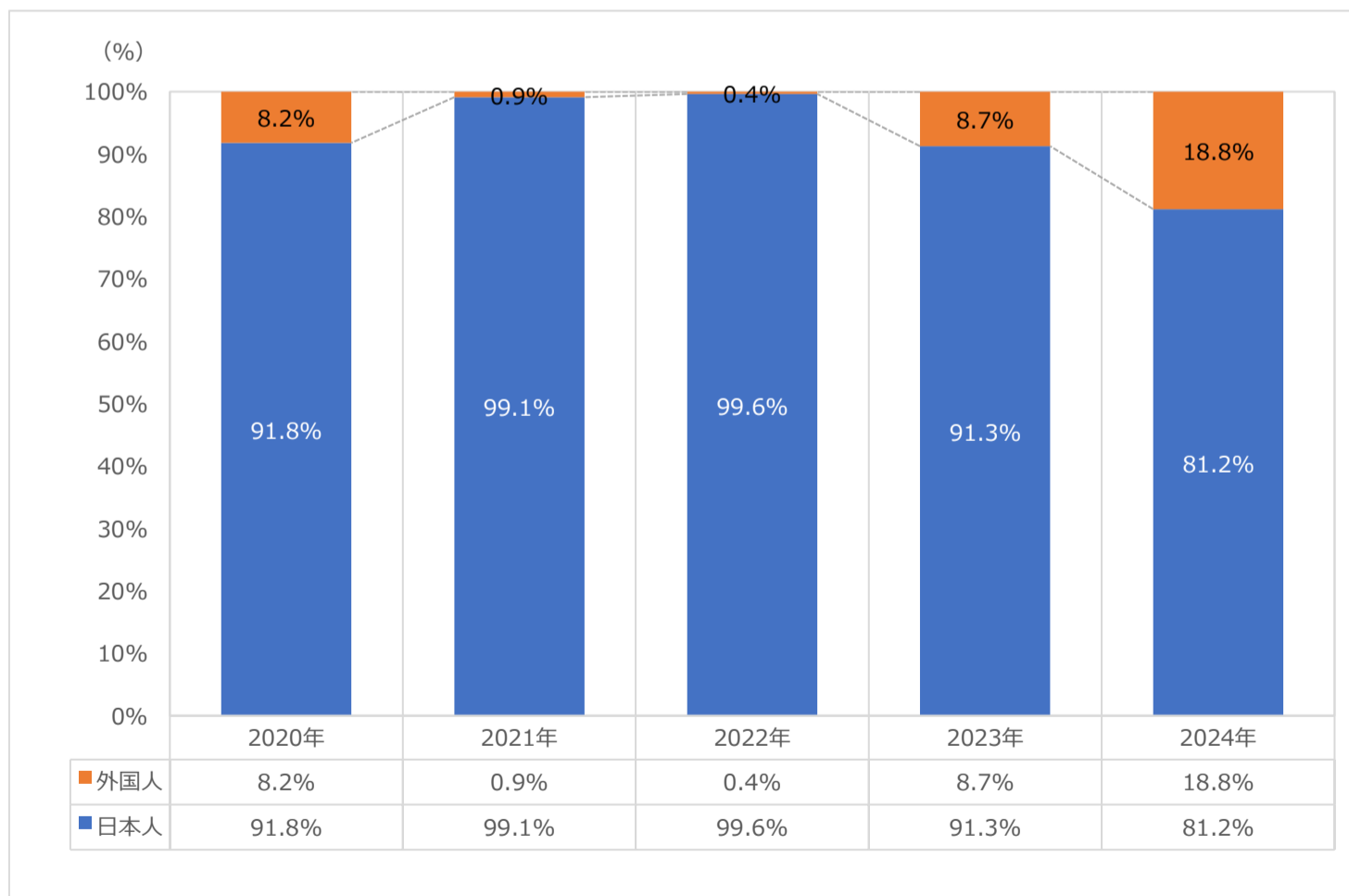


2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



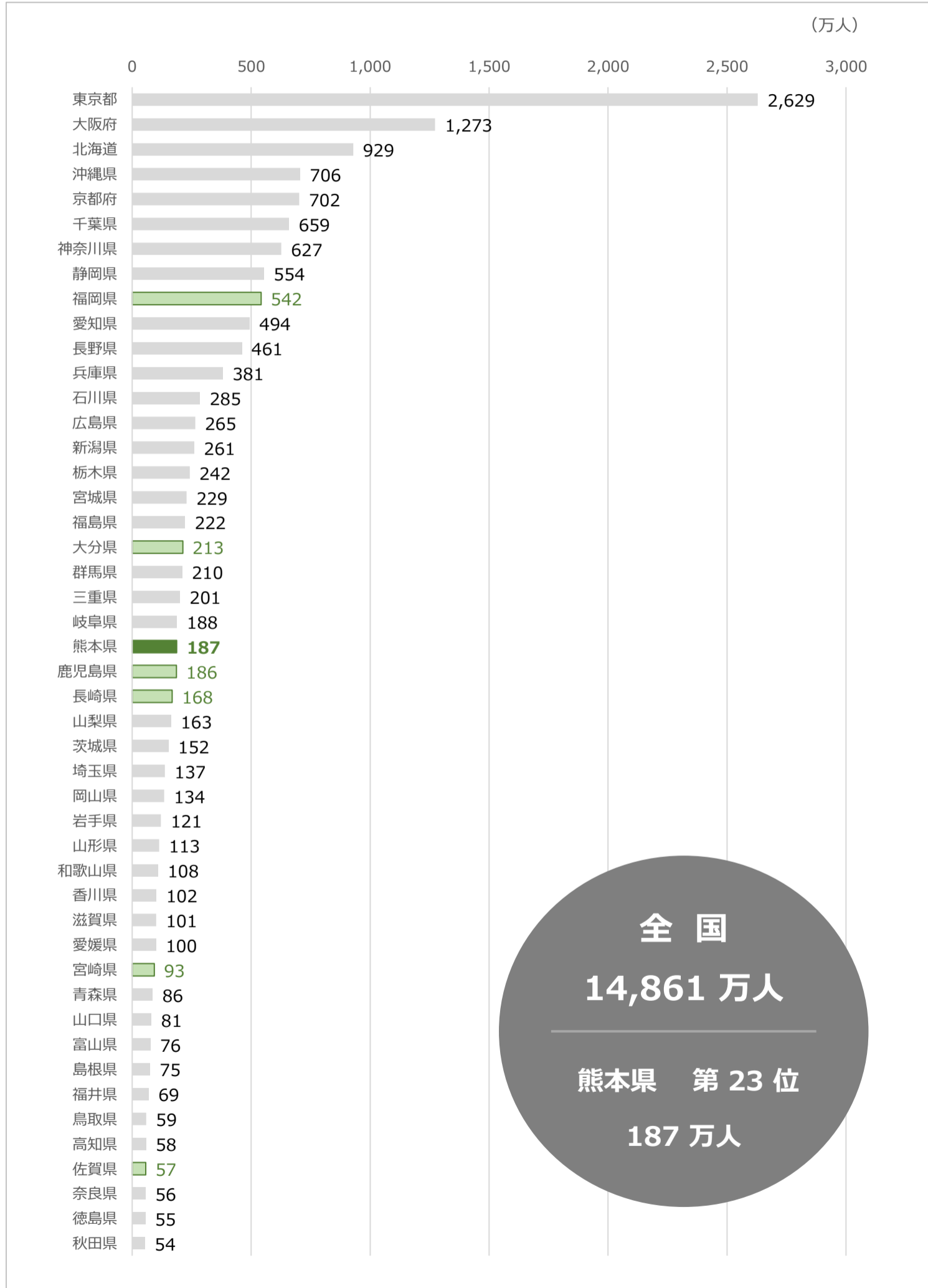
5. 日本人・外国人別割合



2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

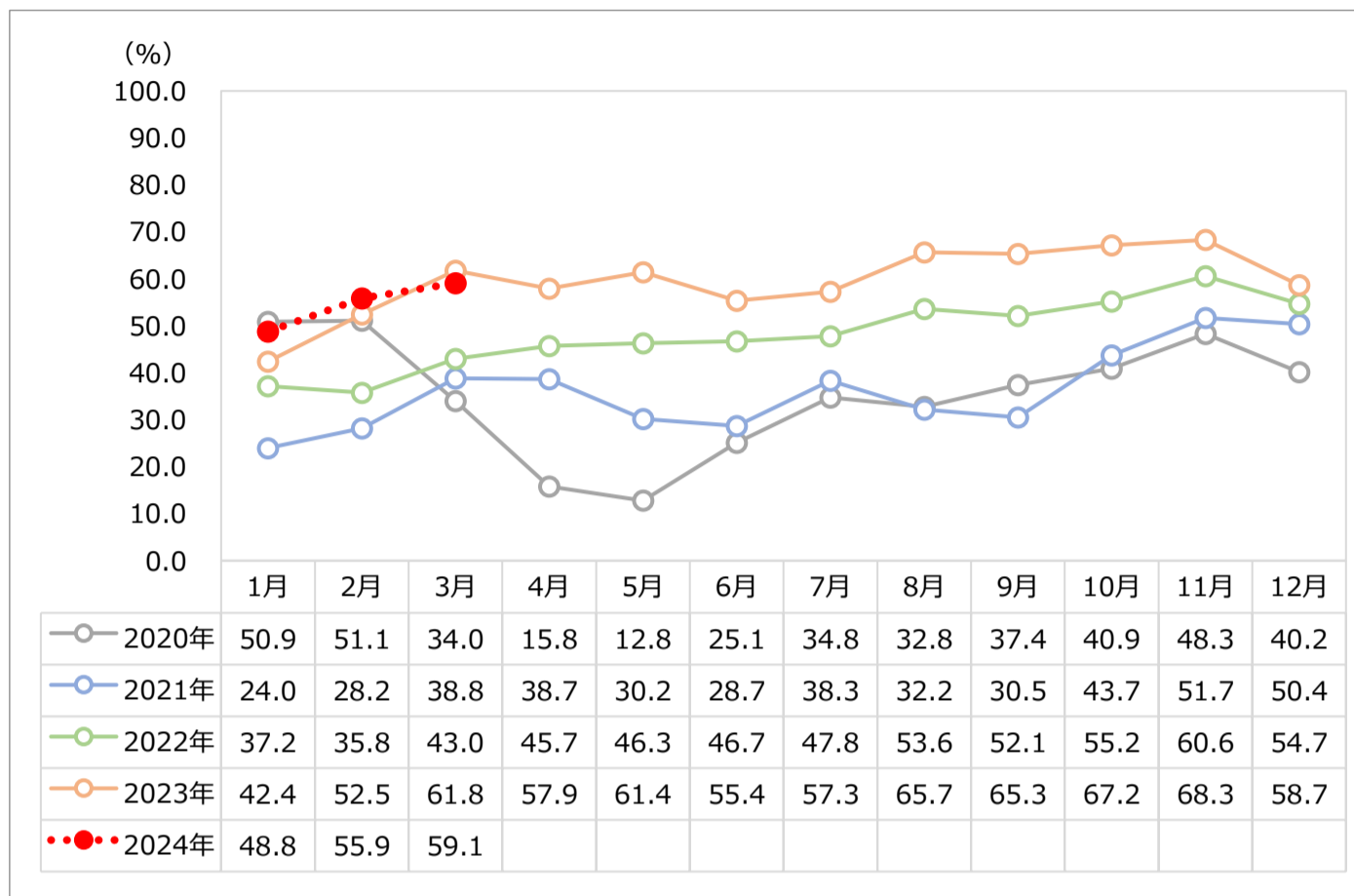
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



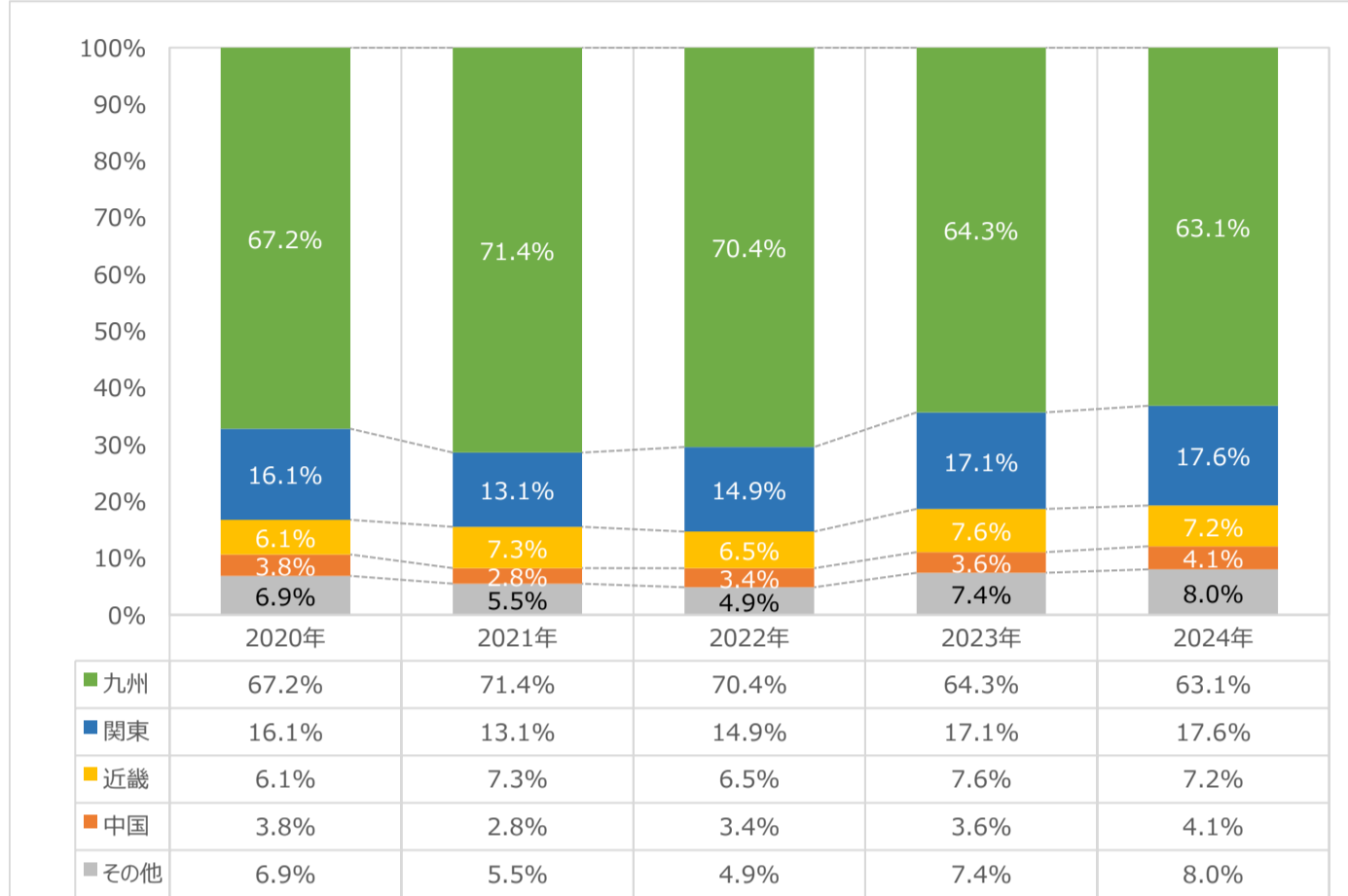
① 施設別稼働率

施設	2023年			2024年		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全体	42.4%	52.5%	61.8%	48.8%	55.9%	59.1%
旅館	32.3%	40.7%	43.9%	29.7%	36.2%	39.6%
リゾートホテル	32.3%	41.9%	56.9%	32.9%	40.0%	55.7%
ビジネスホテル	58.5%	71.2%	77.2%	62.6%	71.4%	71.7%
シティホテル	51.0%	66.3%	76.1%	63.5%	73.7%	77.0%
簡易宿所	13.7%	9.6%	31.2%	30.7%	38.2%	42.5%
会社・団体の宿泊所	13.2%	30.2%	2.5%	13.0%	17.1%	13.8%

2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合

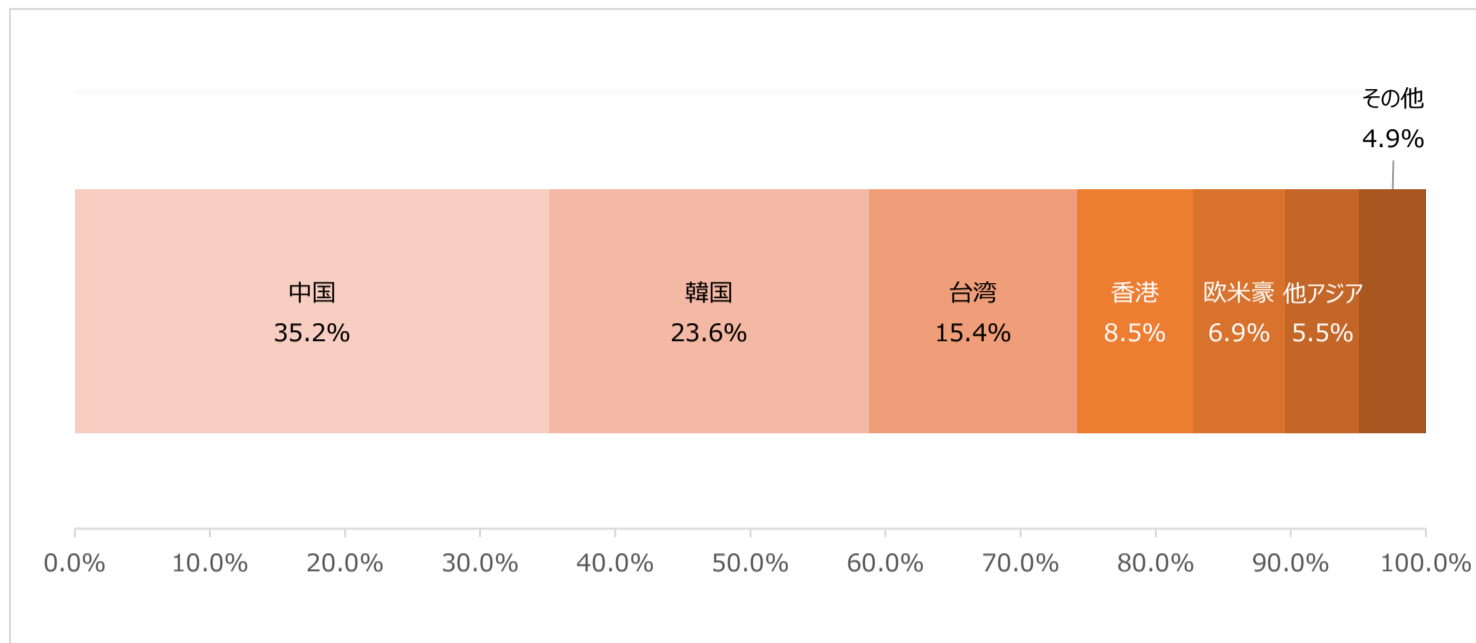


② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2023年		2024年	
1	熊本県	24,059人	熊本県	20,397人
2	福岡県	23,743人	福岡県	20,322人
3	東京都	8,824人	東京都	8,739人
4	鹿児島県	4,189人	鹿児島県	4,010人
5	神奈川県	3,555人	大阪府	2,988人
6	大阪府	3,399人	宮崎県	2,911人
7	宮崎県	3,149人	神奈川県	2,860人
8	長崎県	2,891人	大分県	2,673人
9	大分県	2,665人	長崎県	2,589人
10	愛知県	1,998人	愛知県	2,039人

2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



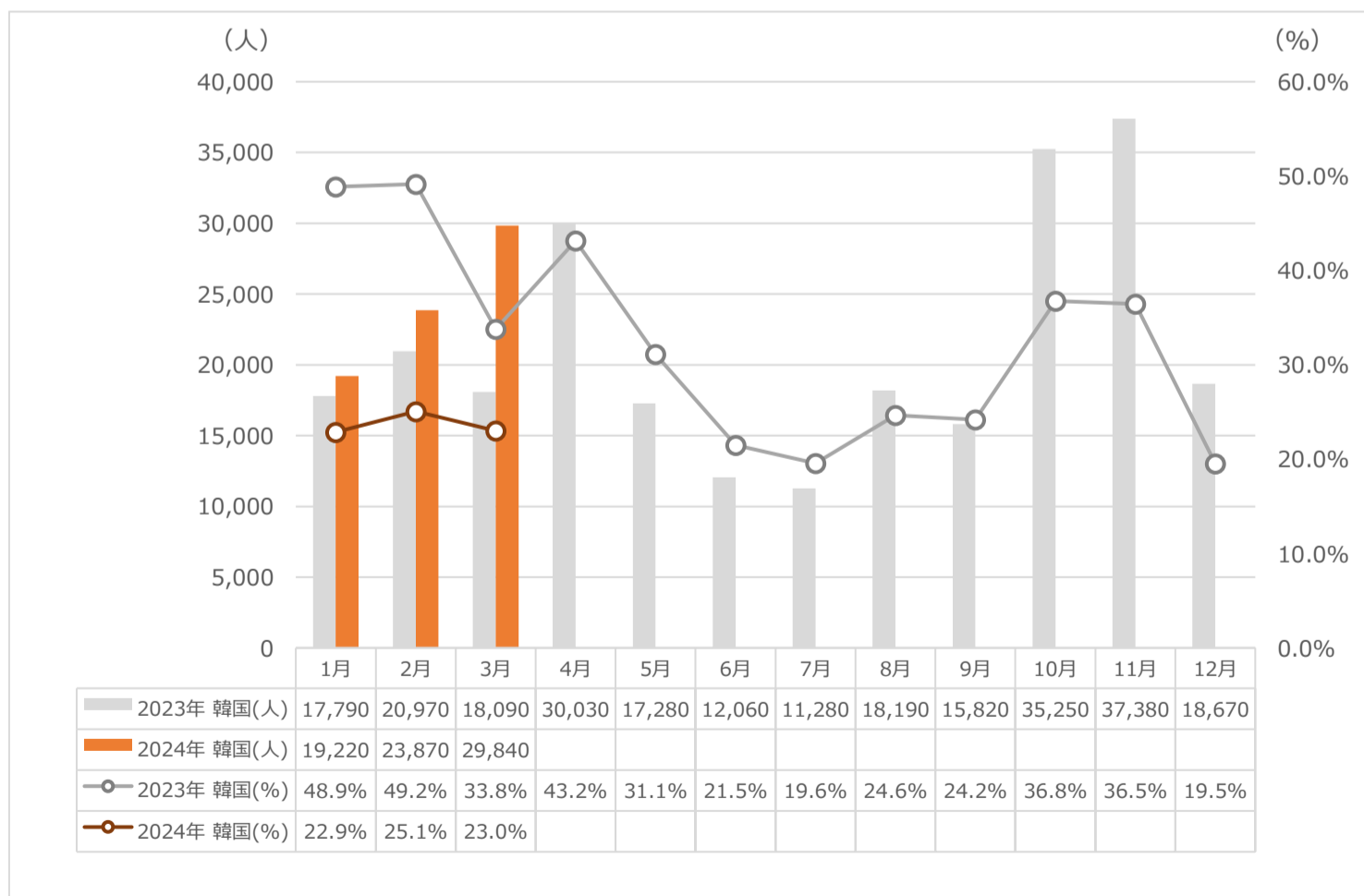
2024年1Qの国籍（出身地）割合は、中国が「35.2%」で最も多く、次いで韓国が「23.6%」、台湾が「15.4%」と続きました。

欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
 他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
 その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国

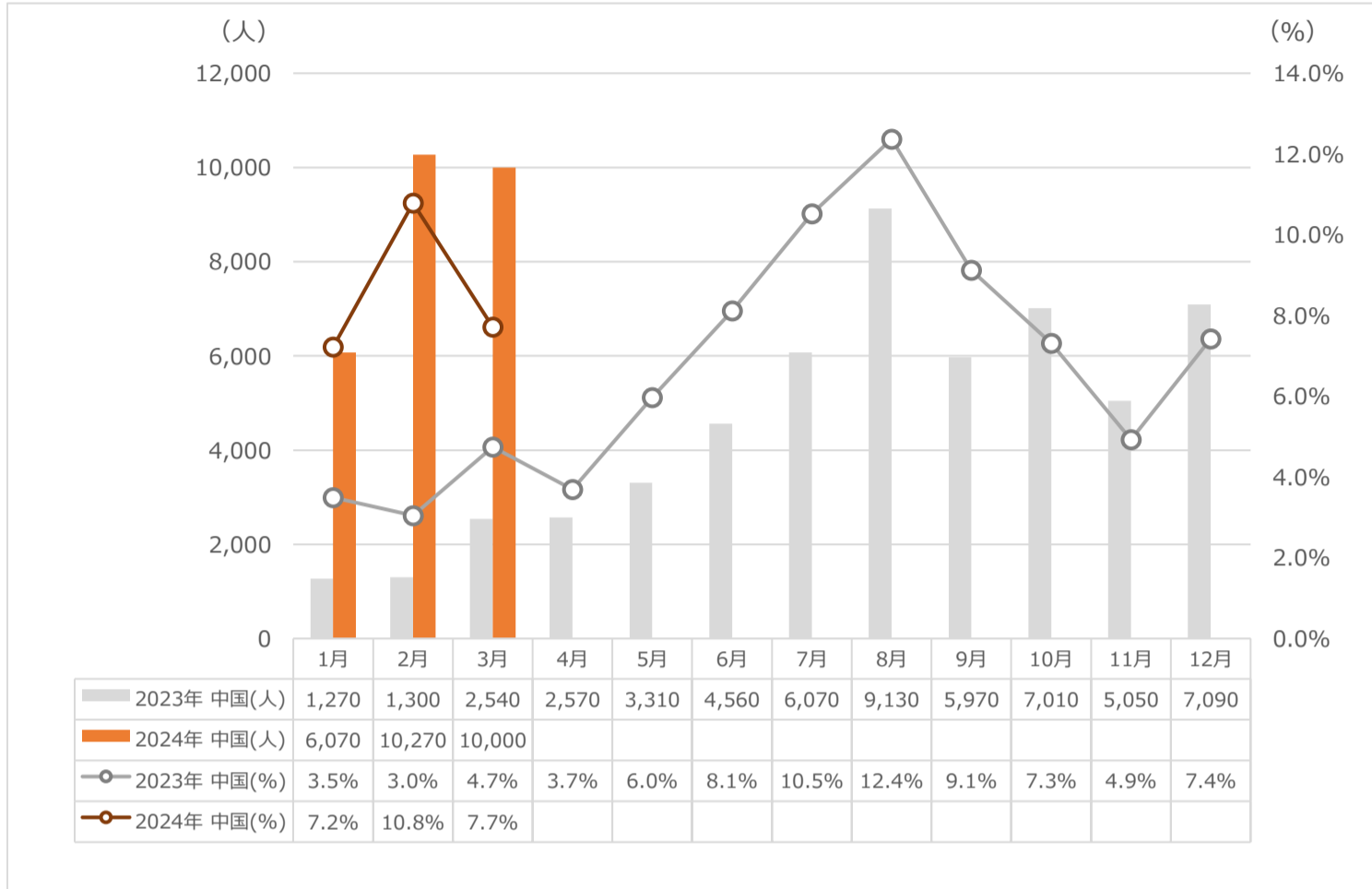
※人 = 延べ宿泊者数、% = 国籍割合



2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

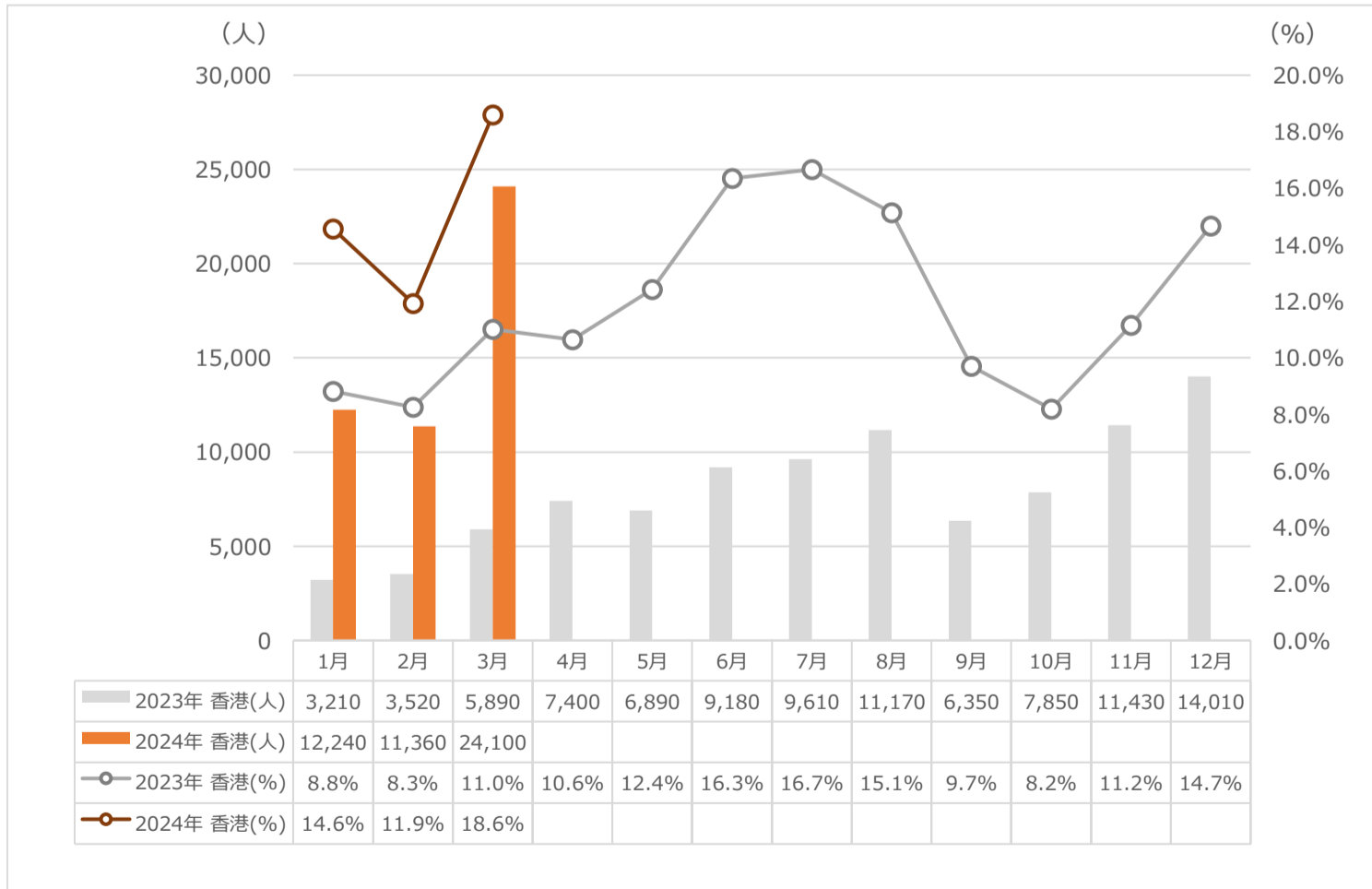
② 中国

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



③ 香港

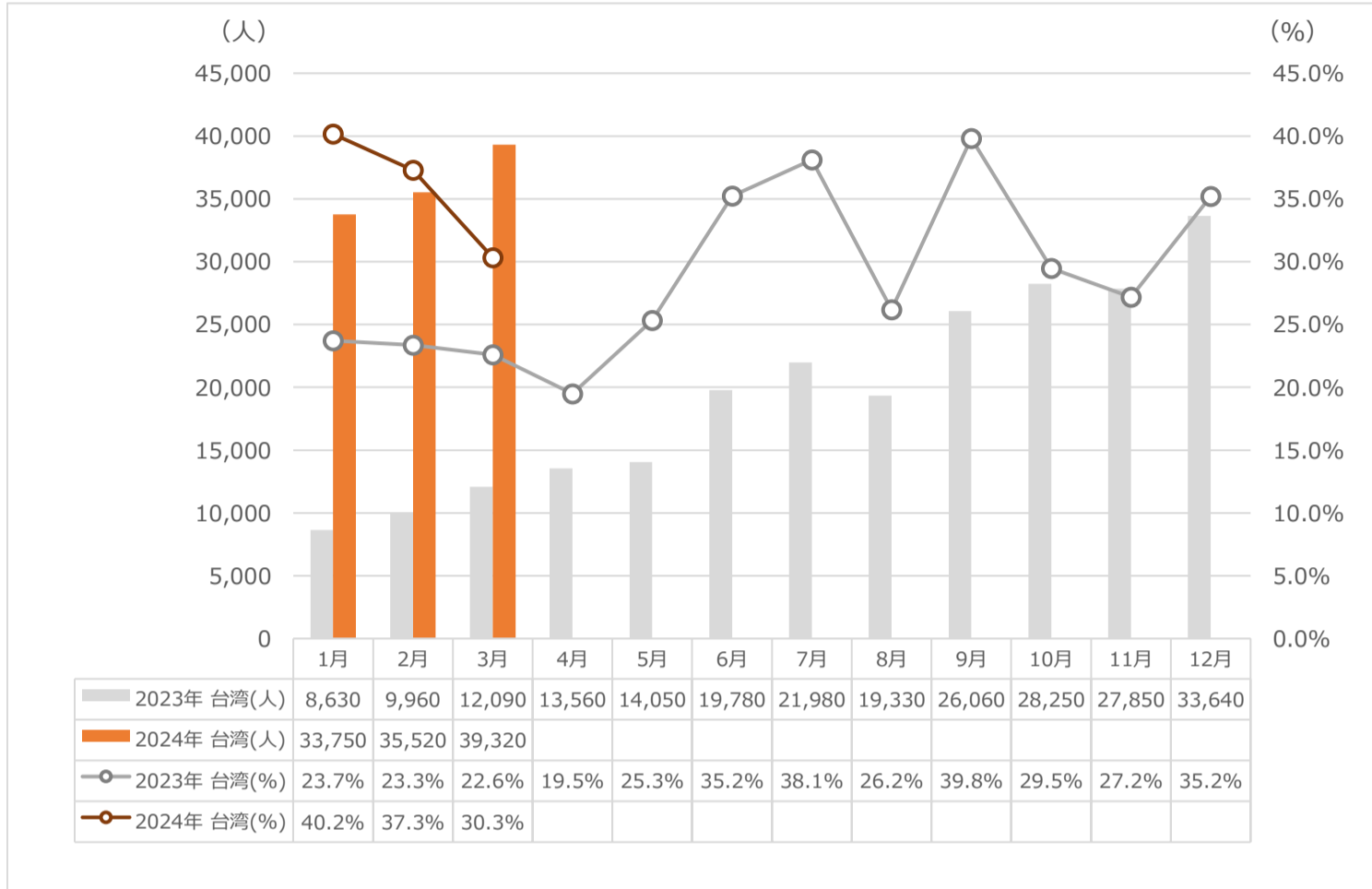
※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

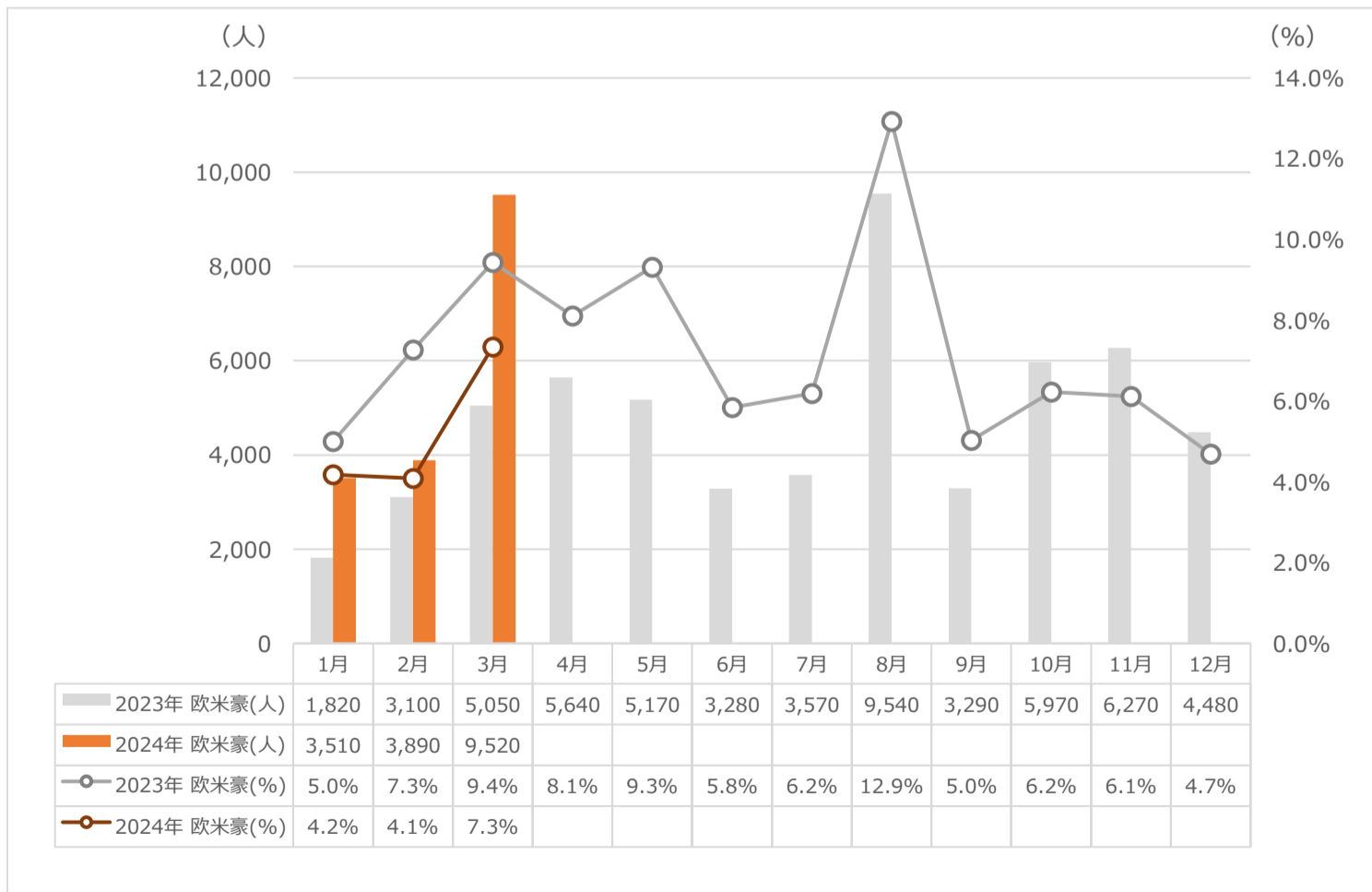
④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

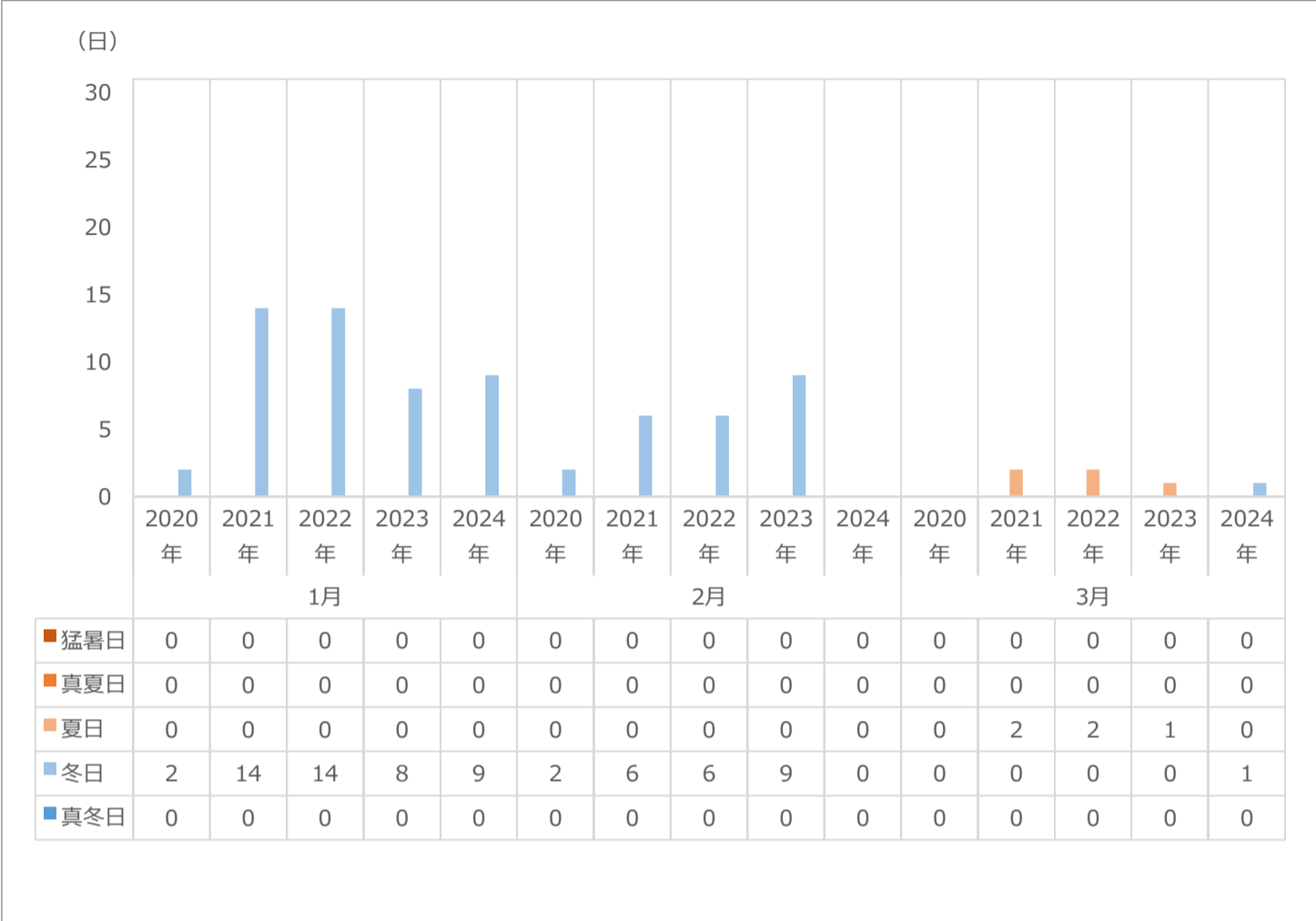
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



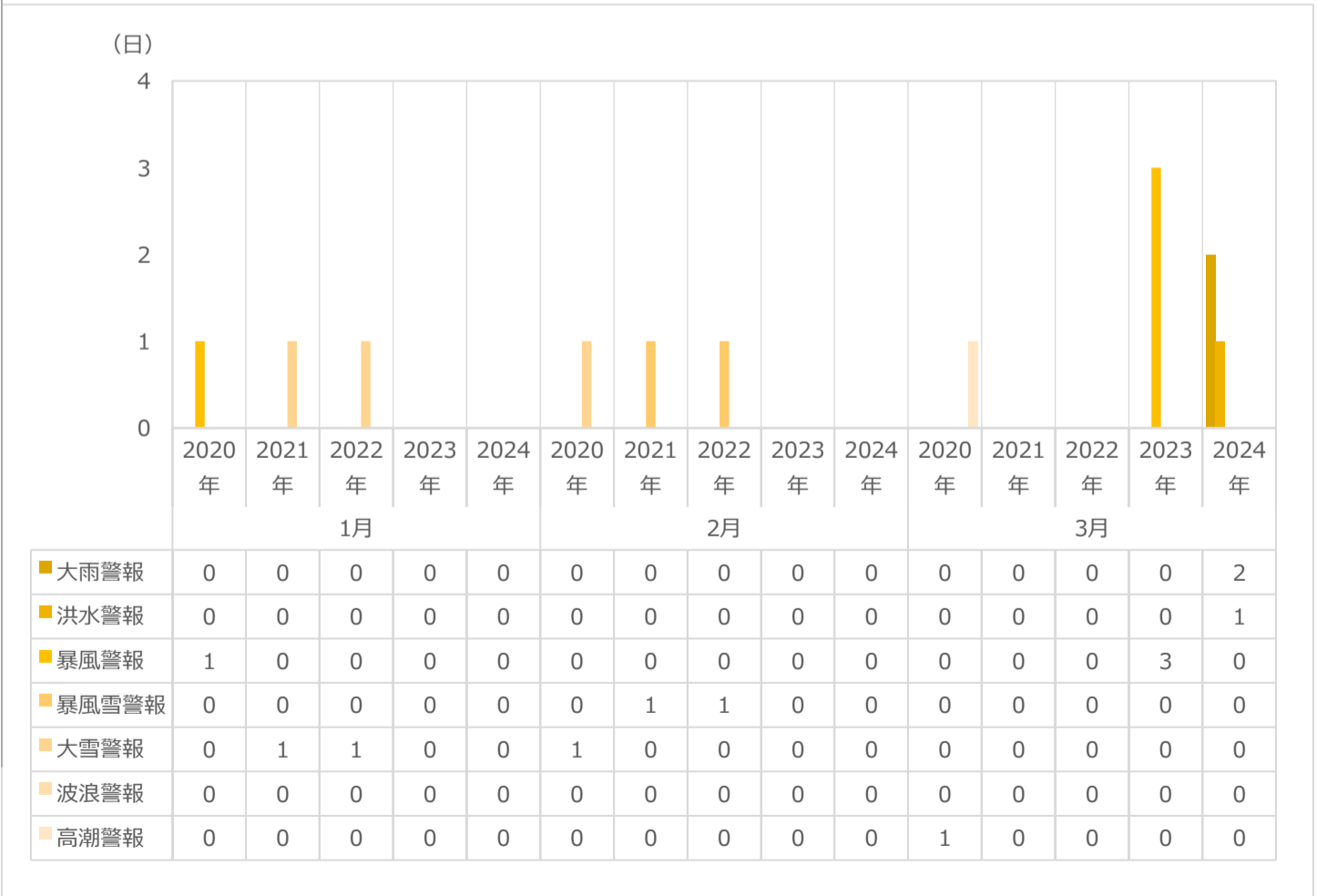
2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2024年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

- ・オンラインゲーム「フォートナイト」で、熊本を舞台にしたステージ「くまモン島」が公開（1/31）
- ・九州中央自動車道の山都中島西IC・山都通潤橋IC間が開通（2/11）
- ・TSMC熊本工場の開所式が実施（2/24）
- ・熊本県、特設サイト「KUMAMOTO Blue DIALOGUE」の「阿蘇篇」「人吉篇」を公開（3/19）
- ・JR九州「SL人吉」が引退、博多-熊本間のラストランを実施（3/23）

- ・「くまもと行くモン旅割（豪雨ふっこう割）」実施（エリア：県南13市町村、対象：全国、宿泊期間：1/15～31）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

期間全体の延べ宿泊者数は、外国人宿泊者の増加から前年を上回った。円安の追い風もあってインバウンドの増加が続いており、国籍別では中国が前年同期比+415%と大幅に増加、香港・台湾からも同250%以上と高い伸びが続いている。一方で日本人は、宿泊促進キャンペーンの終了や物価高により、観光目的の回復に一服感がみられており、春休みシーズンとなる3月は3ヶ月ぶりに前年を下回った。

日別では、3連休の初日である2月10日や2月23日は県内各地で高い稼働状況となった。ただし春分の日（3月20日）は水曜日であったことから、阿蘇地域など観光エリアでも伸び悩んだ。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2020～2022年は確定値、2023～2024年は第2次速報値を採用
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。